

大崎市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問い合わせください。

情報の利用停止を希望された場合でも、治療に影響が出ることはありませんので、安心してお申し出ください。

No.625

研究課題名	関節リウマチにおける臨床的特徴、合併症、および治療に関する後方視的解析
当院の研究責任者	所 属 : リウマチ科 氏 名 : 渡部 龍
他の研究機関および各施設の研究責任者	なし
本研究の目的	関節リウマチにおいては、従来の抗リウマチ薬（DMARDs）やステロイドに加え、近年、TNF α 阻害薬やIL-6受容体抗体、T細胞機能調節薬（アバタセプト）、JAK阻害薬などの新薬が登場し、めざましく治療が進歩している。しかし、それに伴って様々な副作用や合併症が報告されています。 本研究では、関節リウマチ患者の①臨床的特徴（リウマチ因子、抗CCP抗体、CRPなどの採血検査、他疾患の合併、悪性腫瘍や臓器障害の有無）、②治療（経口抗リウマチ薬、ステロイド、生物学的製剤など）、および③副作用と合併症（感染症、悪性腫瘍の発生、骨折、骨粗鬆症など）を詳細に検討します。また、それぞれの合併症ごとにリスク因子の同定を目的とします。
対象者	2018年4月1日から2019年3月31日までに、大崎市民病院リウマチ科で通常診療が行われた関節リウマチ患者の診療カルテを、2011年4月1日まで後ろ向きに検討します。
調査データ 該当期間	西暦 2011年4月1日 ~ 西暦2019年3月31日
研究の方法 (使用する試料等)	①臨床的特徴（年齢、性別、リウマチ因子、抗CCP抗体、CRP、肺病変、肝機能・腎機能障害の有無、糖尿病の有無など）、②治療（経口抗リウマチ薬、ステロイド、生物学的製剤、JAK阻害薬の投与な

	ど), ③副作用と合併症(感染症, 悪性腫瘍の発生, 骨折や骨粗鬆症の頻度など)を診療カルテから抽出し, 統計学的手法を用いて, 合併症のリスク因子を同定します。
使用する試料等	診療カルテのみ
試料情報の他の研究機関への提供および提供方法	学会発表や論文作成を検討しております
個人情報の取り扱い	個人が特定されるような情報は取り扱いません。
本研究の資金源(利益相反)	ありません
お問い合わせ先 (照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先)	住所: 大崎市古川穂波三丁目8番1号 電話: 0229-23-3311 研究責任者 大崎市民病院 リウマチ科 渡部 龍
備考	